

第3章 林道 第1 舗装工

正

1-1-4 路床工 <県独自>

1 適用範囲

本資料は路床工のうち、遮断層工，路床置換工に適用するものとする。

2 条件区分，機種の選定

各工種の条件区分及び適用機種については，次表を標準とする。

なお，機種の選定に当たっては，工事規模，作業条件，土質，土の含水比，他の工種との関連する機械の組合せ等により次表により難い場合は別途考慮する。

(1) 遮断層，敷均しのための路床置換工（シラス，砂）

表 2.1 条件区分・適用機種

作業	作業内容	障害の有無	適用機種
敷均し	標準 (全体盛土量 10,000m <sup>3</sup> 未満)	無し	バックホウ [クローラ型 【標準型・超倍器型・排出 ガス対策型 (2011 年規制)】
		有り	山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )
	標準以外 (全体盛土量 10,000m <sup>3</sup> 以上)	無し	
		有り	

(注) 1. 上表で示す土量は，工事全体の設計盛土量である。なお，施工箇所の幅員が狭小である場合は「障害有り」を適用する。

2. 本工種の積算については，「森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準」第 1 章②土工 3-3「整地（敷均し（ルズ））施工パッケージ」を適用する。

(2) 路床置換工（シラス）

表 2.2 条件区分・適用機種

作業	平均幅員	施工数量	障害の有無	適用機種
敷均し+ 締固め	2.5m 以上 4.0m 未満	-	-	バックホウ [クローラ型・排出ガス 対策型 (第 2 次基準値)] 山積 0.28 m <sup>3</sup> 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバ インド式] 質量 3~4 t
			無し	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 7 t 級 振動ローラ (土工用) [排出ガス対策 型 (第 3 次基準値)] フラット・シ ングルドラム型 11t~12t
	4.0m 以上	10,000m <sup>3</sup> 未満	有り	
			無し	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 16 t 級 振動ローラ (土工用) [普通型・排出 ガス対策型 (第 3 次基準値)] フラ ット・シングルドラム型 11~12t

(注) 1. 「敷均し+締固め」とは，敷均しと締固めの作業をそれぞれ異なる施工機械で行うことを表す。

2. 本工種の積算については，「森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準」第 1 章②土工 3-5「路床盛土施工パッケージ」を適用する。

誤

1-1-4 路床工 <県独自>

1 適用範囲

本資料は路床工のうち，遮断層工，路床置換工に適用するものとする。

2 条件区分，機種の選定

各工種の条件区分及び適用機種については，次表を標準とする。

なお，機種の選定に当たっては，工事規模，作業条件，土質，土の含水比，他の工種との関連する機械の組合せ等により次表により難い場合は別途考慮する。

(1) 遮断層，敷均しのための路床置換工（シラス，砂）

表 2.1 条件区分・適用機種

作業	作業内容	適用範囲
敷均し	標準 (全体盛土量 10,000m <sup>3</sup> 未満)	ブルドーザ [普通・排出ガス対策 型 (第 1 次基準値)] 15 t 級
	標準以外 (全体盛土量 10,000m <sup>3</sup> 以上)	ブルドーザ [普通・排出ガス対策 型 (第 1 次基準値)] 21 t 級
	狭小幅員 (幅 2.5m 以上 4 m 未満)	ブルドーザ [普通・排出ガス対策 型 (第 1 次基準値)] 3 t 級

(注) 1. 上表で示す土量は，工事全体の設計盛土量である。なお，施工箇所の幅員が狭小である場合は施工規模（全体盛土量）にかかわらず「狭小幅員」を適用する。

2. 本工種の積算については，「森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準」第 1 章②土工 3-3「整地（敷均し（ルズ））施工パッケージ」を適用する。

(2) 路床置換工（シラス）

表 2.2 条件区分・適用機種

作業	平均幅員	施工数量	障害の有無	適用機種
敷均し+ 締固め	2.5m 以上 4.0m 未満	-	-	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 3 t 級 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバ インド式] 質量 3~4 t
			無し	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 15 t 級 タイヤローラ [普通型・排出ガス対 策型 (第 2 次基準値)] 質量 8~20t
	4.0m 以上	10,000m <sup>3</sup> 未満	有り	
			無し	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 21 t 級 タイヤローラ [普通型・排出ガス対 策型 (第 2 次基準値)] 質量 8~20t

(注) 1. 「敷均し+締固め」とは，敷均しと締固めの作業をそれぞれ異なる施工機械で行うことを表す。

2. 本工種の積算については，「森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準」第 1 章②土工 3-5「路床盛土施工パッケージ」を適用する。